

はまどま再生プロジェクト (よこはま夢ファンド) ムラ



NORA事務所を、身近な里山を感じながら都市の暮らしに活かすプロジェクトの場「はまどま」にして 13 年目。いよいよすっかり大改装も完了しました。コーディネーターに中條真樹子さんを迎えて新企画にも期待です。会員の皆様のご支援がありがたいです。

with コロナ



コロナ禍においても活動を継続して実施するため、ヤマ仕事、レンジャーズ、はまどま事業など活動ごとに、参加者の体調管理、手洗い消毒、三密の回避、記録方法などを示したガイドラインを作成し実施しました。また with コロナ時代の新たな活動として、web を活用した会議やセミナー、読者会などを開始しました。

受託事業

- 横浜市「森づくりボランティア体験事業業務」
- 横浜市「令和 2 年度横浜市保育所・小中学校等ビオトープ整備等指導業務」
- (財)横浜市緑の協会「長浜公園トンボ池管理等業務(トンボ池管理、トンボとり大作戦運営等)」
- (財)横浜市緑の協会「野島公園ビオトープ環境改善」
- (財)横浜市緑の協会「長浜公園伐採竹の粉碎(チップ化)」
- 横浜植木(株)「トンボとり大作戦開催業務(本牧市民公園、根岸森林公園)」
- 東京海上日動火災(株)・NPO 法人日本 NPO センター「Green Gift 地球元気プログラム」



ウェブサイト & ソーシャルメディア

Facebook のフォロワーは 1,600 近くになりました。Twitter、Instagram はぼちぼちと。YouTube チャンネル始めました。

里山と暮らしをつなぐメールマガジン

毎月メールマガジンを配信し続け、11 月に 150 号を迎えました。9 月からはカラフルで季節を感じる HTML 版も配信しています。

委員・講演実績

- 委員
 - ・神奈川県自然環境保全審議会自然保護部会
 - ・横浜市市民協働推進委員会市民活動運営支援事業部会長
- 講演等
 - ・横浜市「環境教育出前講座」講師派遣
 - ・秦野市「里山フォーラム」コーディネーター
 - ・雑誌『地域人』の特集「ポスト成長社会の地域と経済」に取材記事掲載
 - ・『週刊教育資料』に取材記事掲載
 - ・南砺市 TOGA 森の大学にて講演
 - ・対馬グローバル大学にて講演
 - ・(一社)かながわ地域振興会主催事業にて講演

里山とかかわる暮らしを



特定非営利活動法人
よこはま里山研究所 NORA
URL <https://nora-yokohama.org/>
e-mail info@nora-yokohama.org



特定非営利活動法人 よこはま里山研究所 NORA 2020 年活動報告

今年は NORA にとって設立 20 周年を迎える記念すべき年でしたが、COVID-19 の影響により活動の中止・縮小等を強いられました。それでも活動を止めることなく、ガイドラインの作成、衛生管理の徹底、オンライン企画の実施など、with コロナ環境に対応してきました。一方、皆様からのご寄附をもとに進めてきた「はまどま」の改装工事は終了しました。現在はコーディネーターの方を迎えて、「まちなかの里山の入口」として親しまれるよう地域との新たな関係づくりを模索しています。



松村正治 / ゲスト: 松村正直氏
「家族・社会・場所・歴史・表現」



吉武美保子「横浜の農と森、そして新治の公園づくりに関わって」



三好豊 / ゲスト: 小澤和義氏「食の生産者と利用者のコミュニケーションを再び~未来のために何ができるのか、何をしたいのか?」



石田周一 / ゲスト: 大江正章氏「いしだのおじさんの田園都市生活~コラムを 11 年書いて」



島村雅英「『公害から環境へ』の時代から 30 年、SDGs 目標年の 2030 年に向けた環境行動」

設立 20 周年企画 NORA サロン

理事が持ち回りで話題提供する NORA サロンを、約 2 か月に 1 回のペースで開催しました。サロンでの議論は、2030 年 (SDGs の目標年) に向けた中長期計画づくりに生かす予定です。

NORAの山仕事

ヤマ

間伐や除伐が進み、森の中には太陽の光が入り林床も明るさを増してきました。今年からはロゴソールで太鼓落とし材も製作することになり、保管材の種類も豊富になります。



竹を活かす山仕事

ヤマ

(東京ガス(株)「森里海つなぐプロジェクト」)

減少傾向にあった参加者も、徐々に増えてきて賑わいを戻しつつあります。横浜市内で整備できる真竹林を探しています。管理でお困りの方がいらっしやいましたら、ぜひご紹介ください。



よこはま里山レンジャーズ

(認定 NPO 法人自然環境復元協会)

ヤマ

レンジャーズ隊員とともに横浜市内のフィールドを訪問し、里山保全活動に参加しています。2月から6月まで活動を休止しましたが7月から再開しています。



里山保全ボランティア安全技能研修

(緑の募金、(株)かんぽ生命保険)

ヤマ

安全技能研修の集大成として手道具とロープワークで伐木を行うための研修を実施しました。7月からは「都市の里山資源の活用推進」の活動を新たに開始しました。



まちの近くで里山シゴトづくり

(横浜市、(株)かんぽ生命保険、緑と水の森林ファンド)

ヤマ

「モリダス」と共催で、オンライン自然観察会を学ぶワークショップ、手道具で安全に木を倒すためのステップアップ研修、web動画制作オンラインワークショップを開催しました。



森と畑と音楽と

ノラ

畑の規模拡大、拠点づくり、珍しい「香り米」の栽培、案山子等、次につながる新しい取り組みがスタートしています。農薬・化学肥料を使わないで栽培したササニシキ美味しいですよ！

野菜市でつなぐ農と人

ムラ

「みんなのしあわせは、おいしさの先に！」新スローガンを考えました。みんなでおいしい作物を作り、料理し、食べ続けられるしあわせを！

神奈川野菜の食事会

ムラ

2005 年から始め通算 140 回以上に。季節の、身近な、誰が作ったか育てたかわかるおいしい農産物を料理して、これからは丁寧に大切に、次の世代へ伝える気持ちで続けたい！

もったいないから竹細工

(東京ガス(株)「森里海つなぐプロジェクト」)

ムラ

コロナ禍のために、定員数を半分にするなど、対策を講じて実施しています。リニューアルされた「はまどま」には、作品の展示スペースを設けましたので、見学だけでもぜひお越しください。

はまどまで土間仕事

ムラ

季節の手仕事を大切にしたいという思いから始めた「はまどまで土間仕事」。川口糺さんとの味噌づくり、梅仕事やシソジュースなど、神奈川産の素材を使った保存食づくり等を一緒に。



はまどま手習い塾

ムラ

教わるというよりは、共に作っていく…。天然香原料を使用したお香づくり、神奈川産の食材を使った薬膳料理やスイーツづくり。新たにスパイスを使ったワークショップなども！

里山の恵みと伝統文化に出会う上映会

ムラ

新しい時代に向かって見直したい暮らし方、生き方…。今こそ先人たちの息吹が感じられる映像の持つ力を大切にしたい。「宝物」の映像の数々です。

『食べもの通信』読者会

ムラ

創刊 50 年、家庭栄養研究会編集の月刊情報誌をテキストに、食べものだけでなく身のまわりのあれこれを学び合う。リモート参加は赤ちゃんがいても安心！

はまどま諸々

ムラ

月に2回、はまどまを地域に向けて開く「はまどま OPEN！」。蒔田公園で自然に触れる屋外での OPEN も開催。少しずつ、ご近所とのつながりが結ばれつつあります。

旬の里山探訪

イキモノ

にはる里山交流センター主催の観察会の PR 協力をしています。毎月第1水曜(1月・8月休み)に新治市民の森や近隣の森歩きを楽しんでいます。コロナ禍で春夏は中止し、9月から再開。